

鉄道 75 年小型シートの裁断ずれ

永吉 秀夫



戦後間もない時期に発行された「鉄道 75 年記念」は、小型シートの形態のみで発行された異例の切手です。表紙もないシートのみでの発行なのに、額面 4 円に対して 1 円のプレミアつきの 5 円で販売されました。耳紙に 1 円の価値があるのか、という批判もあったとか。

極端な紙質違いのバラエティが専門型録に載っていますが、上のような裁断ずれもよく見かけます。というより、完全ウェルセンターの方が希少かも知れません。横 3 枚、縦 4 枚続きの 12 シートがけて印刷したものを裁断して仕上げたのですが、その裁断位置がずれたために生じた「不良品」ということになります。しかし資材不足のご時世でしたから、検査もれというより、この程度ならよしとして検査を通してしまったのかも知れません。